

# 「蛍光マルチプレックス RT-PCR 法におけるアストロウイルスの検出向上のための改善ならびに遡り調査による流行遺伝子型の解析」について

## ○ 研究の意義・目的

アストロウイルスは、主に冬季に乳幼児や高齢者に胃腸炎を引き起こす下痢症ウイルスの一種です。近年、国内外において新しい遺伝子型のアストロウイルスが確認されました。

当センターの感染性胃腸炎検査では、ノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルスなど 10 種類の下痢症ウイルスを包括的に検査しています。しかし、この新たに確認されたアストロウイルスの遺伝子型は、現行の検査方法では検出できないことが判明しました。

そこで本研究では、現在使用している検査方法を改良し、新しいアストロウイルスの遺伝子型にも対応できるようにすることで、これまで原因不明であった事例の解明を目指します。また、改良した方法を用いて検出された過去 10 年間分のアストロウイルスの遺伝子型を詳細に解析し、年次ごとの流行傾向や注視すべき遺伝子型を特定します。これにより、小児のウイルス性胃腸炎の対策に役立てます。

## ○ 研究対象者

感染症発生動向調査事業及び集団感染事案検査(以下、「感染症発生動向調査等」という)において 2016 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに感染性胃腸炎の症例で便検体を採取された患者。

## ○ 利用する試料・情報

感染性胃腸炎の症例で採取された患者便検体を使用し、検査用に作成した検体番号と患者の症状、発症日、年齢のみを使用します。(別紙参照)

## ○ 研究方法

アストロウイルス検出用プライマーを新たに設計し、既存試料を用いてアストロウイルスの検出感度や特異度の評価を行います。改良した検査方法を用いて、感染症発生動向調査等で収集した過去 10 年分の遡り調査を行い、検出されたアストロウイルスについては遺伝子型等を解析します。利用する情報(年齢、発症日、症状)から過去 10 年間における流行状況(流行遺伝子型と流行時期、流行年齢層、特徴的な症状)を明らかにします。

## ○ 試料・情報の代表管理責任者

保健研究部 研究員 末井真菜

## ○ 研究期間 2026 年 5 月 8 日～2027 年 3 月 31 日

## ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。研究で使用する個人情報は患者の年齢と発症日、症状、当方で作成した検体番号のみで処理し、個人が特定されるデータは扱わないため、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので、ご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまで、電話、電子メール等によりお問い合わせください。

\* 研究に試料・情報を提供しない場合は下記問い合わせ先へお申し出ください。試料・情報を提供しないことにより、今後の不利益が生ずることはありません。(別紙参照)

.....  
(責任者)

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目 6-29

TEL 082-255-7131 FAX 082-252-8642

E-mail hkcsoumu@pref.hiroshima.lg.jp

広島県立総合技術研究所保健環境センター センター長 山根早百合

別紙

1 試料・情報を利用する者の氏名又は名称

研究機関 広島県立総合技術研究所保健環境センター

所 属	職 名	氏 名
保健研究部	研究員	末井 真菜
保健研究部	部 長	重本 直樹

2 利用する情報の項目

項目	具体的な内容
検体番号	下痢症患者用に作成した検体番号
年齢	年齢
発症日	発症年月日（又は検体採取日）
症状	下痢、嘔吐、発熱の有無など

3 研究への利用を拒否する場合の手続き

「研究に試料・情報を提供しない場合の問い合わせ先」へ連絡してください。